

# 公式記録

(社)兵庫県サッカー協会  
兵庫県高体連サッカー部

## 平成22年度兵庫県高等学校サッカー新人大会

## 準決勝 【 37 】

主審 署名	佐野 成
----------	------

日時	2011年2月11日(金) 11:00 キックオフ				会場	アスパ五色 メイングラウンド					
天候	雪	風	弱風	ピッチ	(天然芝・人工芝・クレー)		状態	水含み	試合形式	70分 / 延長 分 / PK戦 有	
マイナビ	辺見 康裕		会場主任	堀口 泰司		記録	田坂 昌彦 / 田村 孝次		観衆	200人	
主審	佐野 成		副審1	畑 佑樹		副審2	前田 晃男		第4の審判員	吉本 忠義	

チーム名	滝川第二高校					1	1	前半	1	0	後半	1	2	チーム名	市立西宮高校					kick off			
						選手番号	P							P	選手番号								
						○×	先							P	先	○×							

交代		シュート				選手名 (学年)		番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)		シュート				交代	
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半								前半	後半	延前	延後	OUT時間	No.	
	分					清水 貴大	2年	1	GK	GK	1	中野 琢治	2年					分	
	分					佐々木 慎太郎	1年	18	DF	DF	5	山口 駿太郎	2年					分	
	分					鈴木 陸	2年	11	DF	DF	14	帷 智行	2年	1				分	
	分					後藤 尚仁	2年	8	DF	DF	4	池上 泰平	2年		1			分	
	分					槇島 隆介	2年	20	DF	DF	11	渋谷 大山	1年					分	
	分				1	宮本 量介	2年	22	MF	MF	3	大道 壮毅	1年					分	
	分					高畑 智也	1年	7	MF	MF	6	難波 祐輔	2年					分	
	分				1	内橋 真之介	2年	4	MF	MF	8	前野 俊哉	2年					分	
53	分					山本 和也	1年	15	MF	MF	10	後藤 寛太	2年		1			分	
	分				2	3	札幌 健太	2年	19	FW	FW	7	指田 真宏	2年		1		分	
63	分					森田 雄姿	2年	25	FW	FW	9	新井 友博	2年		1			分	
	分					中村 正誠	1年	12	GK	GK	12	小島 諒	1年					分	
	分					尹 翔悟	2年	2	DF	DF	2	石川 智景	2年					分	
	分					小原 裕貴	2年	9	DF	DF	13	木村 浩章	2年					分	
	分					池上 雄星	2年	3	DF	MF	15	秋山 諒太	1年					分	
	分					立花 卓也	2年	24	MF	FW	16	山瀬 誠	2年					分	
	分					下野 慎平	2年	10	MF	MF	17	岡田 大知	1年					分	
25	分					西原 凌也	2年	17	FW	DF	18	松尾 彬由	2年					分	
	分					馬場 航	1年	6	FW	MF	19	平岡 瑞穂	1年					分	
15	分				1		寺田 俊	2年	16	FW	FW	20	溝口 大之進	1年				分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
47	分	警告	11	鈴木 陸	反ス	8		3	5	シュート	1	4			5	分				
49	分	警告	7	高畑 智也	ラフ	2		2	0	GK	1	3			4	分				
	分					3		2	1	CK	1	1			2	分				
	分					7		5	2	直接FK	5	7			12	分				
	分					4		3	1	間接FK	6	0			6	分				
	分					0		0	0	PK	0	0			0	分				

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去 [退場事由] 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過]	略号例:ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS						
	17	分	市西宮	14	帷 智行	0-1	左	CK	⑥	○	中央	⑭	HS
	35+1	分	滝川第二	19	札幌 健太	1-1	中央	22	→	⑭	S		
	41	分	市西宮	4	池上 泰平	1-2	右	CK	⑥	○	中央	④	HS
		分				-							
		分				-							
		分				-							
		分				-							
		分				-							

戦評者 所属【 伊丹北・御影 】 氏名【 吉田・小林 】

昨日から降り続く雪の中、立ち上がりから長短のパスを使い、得点のチャンスを伺う滝川第二がゲームを優位に進める。一方、やや硬さの見える市西宮は、ボールを奪うと右サイドのスペースに素早くボールを送り攻撃を仕掛ける。前半17分、市西宮がコーナーキックのチャンスからゴールを奪う。1点を追う滝川第二は、その後も個人個人の高い技術を発揮して多彩な攻撃を仕掛ける。前半終了間際、滝川第二が同点ゴールを奪いゲームを振り出しに戻す。後半に入り、またもコーナーキックから先攻した市西宮は、落ち着きを取り戻しボールを回し始める。滝川第二は前線の動き出しの速さから決定機を何度も迎えるが、グラウンド状況の悪さも重なり得点には至らない。後半20分過ぎより滝川第二は、前がかりな布陣のため前線とDFラインの間に大きなスペースが出来はじめた。最後まで、そのスペースを埋めることが出来なかった滝川第二に対して、市西宮はそのスペースを有効に使いゲームを進めた結果が勝利を呼んだように思われる。

[備考]